

雪洞

糸魚川勤労者山岳会

会長 青木 満 磨
TEL 025-552-9901



(2091)No.41 発行 2019年8月9日



山行記

★山域・山名=信越・苗場山 2145m

★山行日=2019年8月3-4日(土日)

★天候=3日/晴れのち曇り、ガス。4日/快晴

★山行者=加藤、池亀(報告)

◆一日目(8/3・土) 晴れのち曇り、ガス

▼7月の山行はことごとく雨と霧↘↘(+0+)。今回の天気予報は晴れ、曇りで、3日前に苗場山行を決定。会社の登山家I(ア)さんに苗場山行を伝えると、『すごくいい湿原だヨ〜。俺なんか泣けてきたもん…。今、その話を聞いていても涙が出る。ゆっくり、たっぷり感動して、ストレス解消してきてネ!!』と激励をもらう。いったいど〜〜んな山なんだろお〜?。男を泣かせる??。想像するとワクワク、ドキドキ。楽しみ…♡

▼小赤沢コースの3合目からスタート。大木の根っこが階段代わりみたい。強く太く地に這いつくばっている。ゴロゴロの岩もあるが、なんとかクリヤできた。昨日の雨で五合目あたりからだんだんと岩が滑り、何度もバランスを崩してしまう。

▼七合目から九合目(なぜか八合目の道標をみつけられなかった)は大きな岩々にクサリが5-6箇所あった。ストックを持ってもらってやっとこさ…。本当に暑さとの戦い。こんなにつらいのは予想しなかったヨ〜。何度も小休止をとってもらった。

▼そして九合目の坪場上がる。一気に広大な草原と湿原、数々の池塘群。登山口から登って来た世界とは一変。苗場山の湿原、池塘が迎え入れてくれました。「ウワァ〜〜、ウッソ〜〜」。弱い霧がありましたが、たいそうな思いでここまで登って、こんなご褒美が待っているなんて…。うれし〜♪やったあ〜♪。山頂に続

山頂にて ニッコウキスゲが咲いていました 8/3



く木道を歩きながら、景色、池塘、花々をスマホやカメラに収める。

▼木道の両脇に黄色い

花のキンコウカが一面に咲き、池塘の周囲にはワタスゲが咲いている。「この木道をさらに進んで樹林帯を越えるともっと広〜い湿原、池塘が見られるヨ〜」と同行者。もお〜のんびりゆっくりお散歩気分♡。素晴らしい風景に大きく深呼吸して酸素を取り入れ、ハァ〜〜。圧巻なこと!!。

▼遠くは霧で見えないけど「明日の楽しみに…。会社のI(ア)さんの言葉そのままでした。池塘がずーっと向こうにも多数点在。草原のきれいな緑、池の周囲にはワタスゲとキンコウカが咲き、キラキラと光って見えます。チングルマの綿毛、タテヤマリンドウも見られる。感動して写真を何枚も…。

▼この感想文を作成中も写真を見ながらウルウルトきます。だって、山の会(労山)に入らなかったら一生見ることができずにいただろうからネ。感謝いたします。ありがとお〜〜!!。*自分の最期はこの地で“千の風”になって浮遊したいと心から思い、願います(*^_^*)。

▼小屋の手前まで来ると「工事中」の幟旗が立



周囲にワスレが咲いていました 奥は山頂ヒュッテ 8/4

っていて、木道の補修工事を親方らしき人が一人で作業をしていました。聞くと「8人で仕事をしているが、週末はみんな下山して月曜日に登ってくる。自分は歩くのが大変なんで小屋で泊まっている」とのことだった。ご苦労様です。頭が下がります。

▼さて、今日は山頂の小屋泊まりです。91名の定員にほぼ満室。布団は一人一枚で楽々。夕食はカレーライスにらっきょと福神漬け、ポテトサラダ。お変わり自由。山での食事は最高のごちそうです。夕食後、加藤さんと外のテラスで二次会、うれしい。刻々と変わる景色を楽しみ、夕焼けに感動したりと、1分1秒を脳みそに記憶したい気分でした。都会から来たという3人組の若い女性と相席になり、会話も楽しかったです。

◆二日目 (8/4・日) 快晴

▼朝4時50分頃、小屋から少し離れた所へご来光を見に行く。小屋の周辺にはたくさんのコースがあり、登山者が集まっている所へ寄っていく。5時過ぎにご来光が始まり、感動の歓声が上がります。心地よいさわやかな風が吹いて、今日は天気の良いナ…。小屋へ戻って朝食はバイキング。たくさんいただきました。

▼7時45分下山開始。昨日とは違い、朝日と青空に映える草原の緑がきれいだ。広大な湿原

写真 by 加藤

や池塘、草原、遠景に足を止めてカメラを向ける。下りの七合目付近で登ってくるツアー登山者の一人が滑落したとザワツイテいる。どうしよう。ドキドキしてきた。しかし、落ちたところが深い笹竹の所で無事らしい。よかった。

▼六合目付近までは岩だらけで湿っているし、滑って危険。慎重に足を運ぶ。こんな時毎回思う。早く普通の道路を歩きたいって。下ること3時間で無事に下山しました。車で温泉に向かう途中「大瀬の滝」に立ち寄る。ヒンヤリした空気で生き返った。大阪ナンバーの車の中年男性が滝壺に入ってワイシャツを洗っていた。

。まっ、いろんな事情があるからね…(-.-)。

▼入浴は小赤沢温泉楽養館で500円。【一口メモ＝一般療養泉基準の倍以上という高濃度の赤い湯が特徴。疲れた身体をほぐし、痛みを和らげるそーです】。食事もできます。ランチにはソバをいただきました。

▼帰り道の途中、気になっていた松之山の『美人林』に連れて行ってもらいました。ずーっと前、テレビの深夜番組で放送していました。一度は行ってみたいと思っていたから…。観光バスで大勢の人でした。

▼17時帰着。すっごく～いい山旅でした。加藤さんに感謝いたします。また、再び皆さんと行きたい山・ナンバーワンです。《報告 by 池亀》

▼タイム＝**一日目**三合目登山口 10:15…五合目 11:25…坪場 13:10…14:25 苗場山 15:00…15:05 苗場山頂ヒュッテ (泊) **二日目** 6:50 山頂周辺散策 7:45…坪場 8:40…五合目 9:50…10:45 登山口



九合目付近の池塘群と鳥甲山 8/4